

入賞作品一覧(公共交通マナー部門)

作品	タイトル・氏名・説明	選評
都営交通最優秀賞		
	<p>私も言えたよ「席どうぞ」 4年生 山本 真奈 さん 「骨折した時に、席をゆずってもらえてうれしかったので、今度は私が困っている人に席をゆずってあげたいです。」</p>	<p>やさしい思いやりの心がよくあらわれている作品で、コピーも語呂が良く、表情や仕草など細かい点もよく観察して表現出来ています。特にハーフトーンを使った色彩バランスが秀逸です。</p>
都営交通優秀賞		
	<p>おもいやりの心を 2年生 大澤 壮真 さん 「バスに乗っていると、車いすの人も利用しているのを見かけます。困っていたら、ぼくも手助けしたいと思います。」</p>	<p>画面の構成や一筆描きのような表現、さらりと乗せた色などとても良く描けている作品です。スピード重視の現代ですが、社会弱者にも目を向けたゆとりある視点が素晴らしいです。</p>
	<p>ありがとう♡優しい心伝わるよ 4年生 渡辺 菜々穂 さん 「優先席を必要としている人に席をゆずり思いやりの優しい心であふれる車内にしたいという思いで書きました。」</p>	<p>みんなが笑顔で、丸の表現が画面に広がりとても明るく楽しげな作品です。よく見ると妊婦さんやお年寄りやヘルプマークも描かれていて、様々な乗客がいることを伝えてくれる良作です。</p>
	<p>助け合う心 5年生 横山 ひな さん 「ホームドア、点字ブロックがあっても人による声かけが一番必要と知りました。助け合う心が人を笑顔にします。」</p>	<p>画面構成が斬新で、黄色い点字ブロックが画面の中央を横断しグレー色のアクセントとして効いています。助け合うことで笑顔を生むことが伝わる素敵な作品です。</p>
都営交通賞		
	<p>かけこみ乗車きんし 1年生 大島 壮一朗 さん 「かけこみ電車はじこやげがの原いんになるのでなくなってほしいと思ってかきました。都営新宿線大すきです。」</p>	<p>絵の主役にチーターを持ってきたアイデアはとても面白く、目のとび出た表情は驚いた人の心の内を大胆に表現できていて、目を引くユニークな作品となっています。</p>
	<p>すすんでせきをゆずろう 1年生 櫻井 紗良 さん 「母が妹をにんしんしているとき、席をゆずってくれたやさしい小学生がいて私もそうなりたいおもったから。」</p>	<p>弱い人達を優先させてあげたいという優しい気持ちがよく表せています。つり革の丸の中にコピーの文字を入れたアイデアはおもしろく、とても良くまとまっています。</p>
	<p>ゆうせんせきはおもいやりのせき 1年生 渡辺 百々花 さん 「ゆうせんせきをひつようなひとにゆずってほしいです。みんながえがおでゆずりあえるといいな。」</p>	<p>画面に黄色を大胆に使ったことが目を引き、妊婦さんマークを入れた点も良いアイデアだと思います。交わされた会話があることでその瞬間のシーンが見えるような作品です。</p>
	<p>ホームで遊ぶと危険です 2年生 西原 至 さん 「僕は、浅草線が大好きです。これからも無事に発車できるように、マナーを守って乗りたいです。」</p>	<p>電車の顔を前面にしたところが良く、遠近感をうまく使えています。コピーの文字を1つ1つ色を変えたアイデアは画面が明るくなり目を引く良いデザインです。</p>

	<p>みんなが並べば気持ちいいぞうー 5年生 坪井 結志郎 さん</p> <p>「みんながきちんと順番を守って並ぶと気持ちよく乗れると思って描きました。ゾウが言っている風になりました。」</p>	<p>並んでいるのが人間ではなく動物にした点がほのぼのとした温かな作品となりました。バスもよく観察して細かな部分まで良く描けています。コピーも面白く表現できました。</p>
---	---	--

都営交通協力会賞

	<p>エスカレーターはたちどまって、2れつでのろう。 2年生 小林 諒子 さん</p> <p>「いつもエスカレーターの右がわをあけてみんなのっていて、だれもまもっていないので何かしたいと思いました。」</p>	<p>絵の構成が斬新で、ピンクを大胆に使ったところも目を引きます。子どもらしい思い切った表現がとても魅力的です。こんなポスターがあれば急ぐことなくゆったりと2列で並びますね。</p>
	<p>つめてすわろうね 2年生 中島 健太 さん</p> <p>「大きなカブト虫が2人用の座席の中央に座っています。詰めると、横にもう一匹座ることができます。」</p>	<p>画面いっぱいに表現しているところがとても良いです。車内に人ではなくカブトムシを使ったアイデアも面白く、見ていて楽しくなり、ポスターとしても目を引く良い作品です。</p>

みんくる・とあらん賞

	<p>車内では、おしずかに！ 1年生 林 瑞季 さん</p> <p>「みんなが気持ちよくりようできるように、車内では大きな声で話さないことをつたえたいと思ってかきました。」</p>		<p>守ろうマナーやさしい気持ちで 3年生 藤村 夢可 さん</p> <p>「やさしい気持ちでせきをゆることでえ顔になれるのでゆるずることは大切です。」</p>
	<p>ゆずりあおう！しずかでいよう！ 2年生 佐々木 理紗子 さん</p> <p>「席をゆずるやさしい「ゆずるくん」と、お話をしないで乗車する「しずかちゃん」を描きました。」</p>		<p>あわてなくても だいじょうぶ 3年生 宮田 莉奈 さん</p> <p>「お年寄りでも子どもでも、あわてず乗車していいよ、という気持ちを表現しました。」</p>
	<p>リュックは前に!! たぬきさん!! 2年生 丹呉 仁美 さん</p> <p>「校外学習で電車にのったら、リュックは前にもうと言われ、たぬきみたいにしたらぶつからないで良いと思った。」</p>		<p>みんながすわれるとうれしい 5年生 柴田 瑛溜子 さん</p> <p>「座席で、足を広げたりしないで皆で座れば一人でも多くの人が座れて皆が楽で快適なことを伝えたいからです。」</p>
	<p>かけこみじょうしゃキケンだよ！ 2年生 西村 真帆 さん</p> <p>「最近、かけこみじょう車をよく見かけます。電車がおくれることになるのでやめてほしいと思い、応えました。」</p>		<p>あなたの回りに席をゆずってほしい人がいます 6年生 小竹 春輝 さん</p> <p>「1人1人が自分の回りをよく見て、体が不自由な人がいたら勇気をもって声をかけ、席をゆずってあげましょう。」</p>
	<p>ぼくはゆずれる人になる！ 2年生 山中 遥太郎 さん</p> <p>「ぼくがへとへとな時にせきをゆずってもらってうれしかったから、自分もゆずれる人になりたいと思った。」</p>		<p>広げよう思いやり 6年生 山口 航輝 さん</p> <p>「誰でも利用しやすいフルフラットバスを中心とし、音楽を入れだれにでもある思いやりの心を表現しました。」</p>

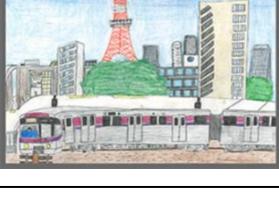
【公共交通マナー部門総評】

子どもの純粋な眼差しや、思いのまま表現された作品群に心が躍りました。作品を目の前で見ると、細かなタッチや下書きの線など作者の思いが画面から溢れ出ていて、それを1ミリも逃さないつもりで審査に当たりました。我々大人はこうあるべきと言う既成概念で判断してしまいがちですが、子どもの発想力や表現力に改めて刺激をもらいました。マナー作品は子どもでさえ既成概念に捉われがちですが、それを払拭する良作が揃ったと思います。

(審査員 共立女子大学家政学部建築・デザイン学科教授 石田 和人 氏)

※同一賞内は学年順

入賞作品一覧(風景部門)

作品	タイトル・氏名・説明	選評
都営交通最優秀賞		
	<p>都バスとなら、どこでも行けるよ！In Tokyo 2年生 五十嵐 暖人 さん 「ぼくは都バスに乗ってよく出かけます。走るバスを見るのも、窓から東京のけしきを見るのも大好きです。」</p>	<p>都バスに乗って見てきた東京の景色が画面いっぱいに表現されていて、楽しかった体験が伝わってくる良い作品です。元気な色合いがうまく調和し、丁寧でありながら明るく綺麗に描かれています。</p>
都営交通優秀賞		
	<p>たのしい町 1年生 星 悠介 さん 「みんながたのしい気持ちになるようなかわいいラッピングでん車をかきました。」</p>	<p>電車の車両や線路、それらを囲む景色の中に見えるパーツなどの細かい描写が素晴らしい作品です。普段から電車が好きで、よく観察していることが想像できるこだわりの作品ですね。</p>
	<p>東京駅を走る都営バス 4年生 大場 麻清 さん 「今まで行った駅の中で東京駅が一番好きなのでこの絵を書きました。また東京駅に行きたいです。」</p>	<p>東京駅の景色が細部までとてもよく描かれています。またそれ以上にバスの表現がとても細かく丁寧に、また堂々と立体的に描かれていてとても魅力的な作品です。</p>
	<p>荒川車庫に止まる7000形 4年生 呉 ハラム さん 「荒川車庫に止まっている7000形を書きました。自分が荒川線に初めて乗った時に7000形に乗ったからです。」</p>	<p>都電が正面を向いて堂々と並ぶ景色を綺麗に切り取り描いた、秀逸な作品です。影の表情が豊かで、その表現によりこの場所の空気感が伝わってくる迫力のある作品です。</p>
都営交通賞		
	<p>えがおあふれるみんなの三田線 2年生 池元 太一 さん 「えがおでいっぱい三田線の6000けいを書きました。人のひょうじょうをうれしそうにして書いています。」</p>	<p>長い電車が駅のホームに停車し多くの人が行き交う様子が、とてもよく描かれています。電車の奥の方が小さくなっていく遠近感を丁寧に表現していますね。</p>
	<p>にじの上を走るバス 3年生 宮田 心夏 さん 「実さいににじを見たことが無いから、にじの上を走って動するバスがあったら学校から海や山に行ってみたい。」</p>	<p>自分の街の空に虹がかかり、虹の上をバスが走る。そんな発想が大人にはできないとても優しい表現ですね。豊かな想像力と、鮮やかに表現された色彩を評価したいです。</p>
	<p>大江戸線と赤羽橋の風景 4年生 幾島 寛貴 さん 「東京タワーに行った時に赤羽橋から見たけしきをかきました。」</p>	<p>地上の赤羽橋から見た東京の景色と、地下を走る大江戸線の二つの景色を想像して合わせて画面に構成した面白い作品です。躍動的な車両が魅力的です。</p>
	<p>銀杏並木とバス 5年生 鈴木 あん さん 「私は登校するとき都バスを使います。バス停は銀杏に囲まれて秋になるととてもきれいです。その景色を描きました。」</p>	<p>黄金色に輝く銀杏とその落ち葉がバス停周辺を綺麗な秋の景色へ変えている様子が画面全体で表現されていて、とても目を惹く作品です。黄色だけではなく木の中に見える緑や赤の葉の変化する表情が素敵ですね。</p>

	<p>さくらトラムと満開の桜 6年生 岩寄 奈那美 さん</p> <p>「さくらトラムと呼ばれている都電荒川線と植物の桜をかけて描きました。春になったら見に行きたいです。」</p>	<p>桜の花びらが舞う春の暖かさの中、都電荒川線がゆったりと街中を走る。そんな光景を美しく表現してくれた素敵な作品です。見ているだけで春の香が漂ってきそうです。</p>
---	--	--

都営交通協力会賞

	<p>鉄道と街を照らす光のなかまたち 3年生 中森 陽樹 さん</p> <p>「舞浜大橋から見える東京メトロ東西線と街を照らし、包み込む東京都の光のシンボルたちを描きました。」</p>	<p>豊かな色彩表現がとても魅力的です。星が浮かぶ綺麗な夜空を背景に観覧車・スカイツリー・月が明るく鮮やかに描かれ、それらが車両を照らし出している光景が魅力的な一枚の絵画になっています。</p>
	<p>大好きな東急線 6年生 茂木 麻依呂 さん</p> <p>「お母さんと一緒に目黒線と大井町線と田園都市線に乗ってお出かけしたいです。」</p>	<p>横に並んだ車両が大胆に大きく構成され、電車の顔を格好良く表現したこだわりの作品ですね。また、細かいところまで詳細に描かれた表現も魅力的です。</p>

みんくる・とあらん賞

	<p>あんぜんうんてん いつもありがとうございます 1年生 大野 叶純 さん</p> <p>「まいにちえがおでがっこうにかよえているのは、あんぜんにうんてんしてくださるうんてんしゅさんのおかげです。」</p>		<p>思いやりをのせて 2年生 山本 結琉 さん</p> <p>「みんなが思いやりをもってのバスであるようにかきました。」</p>
	<p>モノレールの思い出 1年生 北 英紗 さん</p> <p>「大好きだった上野のモノレール。私の大切な思い出です。」</p>		<p>都バスと東京タワー 3年生 古田 麗花 さん</p> <p>「大すきで綺麗な東京タワーの前に都バスが走って行く場面をかきました。」</p>
	<p>いつもうんてんありがとう 1年生 増山 航大 さん</p> <p>「小学校に通う際にいつも利用している都営バスを安全に運転してくれる運転手さんにありがとうございますの気持ちを込めて。」</p>		<p>私の身近にあるにぎやかな町を走るバス 4年生 神山 華蓮 さん</p> <p>「事けんやナズの多い場所ですが、人やお店が多くてにぎやかなけしきをバスの中から見るのが好きなので描きました。」</p>
	<p>新しいエネルギーのバス未来へ 2年生 池野 礼菜 さん</p> <p>「うちのきんじょを走る水素バス。ガソリンより空気をよごさないんだって！」</p>		<p>笑顔あふれる都営交通 6年生 葛生 捷斗 さん</p> <p>「都営交通が未来へ向かってとび出してみんくるととあらんといっしょに笑顔で見ているイメージをかきました。」</p>
	<p>いつも安全運転ありがとうございます 2年生 清水 杏奈 さん</p> <p>「小学校に通う際にいつも利用している都営バスを安全に運転してくれる運転手さんにありがとうございますの気持ちを込めて。」</p>		<p>都営の歩み 6年生 佐藤 悠輝 さん</p> <p>「ぼくがタイムスリップしてみたい昭和の街から、平成令和の街並みを再現しました。」</p>

【風景部門総評】電車やバスのある風景をそれぞれの視点で描いた作品は、単なる日常的な風景の絵に留まらず、子供たちそれぞれの想いが詰まったものでした。画面いっぱい描いた大胆な構図、色彩鮮やかな光や季節の表情、好き！が伝わる写実的な表現など、「見たものを描く」ことを超えて、思い出やこだわりを想像して描いた発想豊かな作品が多く並びました。

(審査員 東京藝術大学美術学部デザイン科テクニカルインストラクター 佐々木 里史 氏)

※同一賞内は学年順